

## 選択教科学習指導案（社会科コース）

日 時 平成18年10月30日（月）  
 生徒 2年（17名）3年（7名） 計24名  
 場 所 3年A組教室  
 指導者 加茂 収

### 1. 教材名

東南アジアの産業「コーヒーカップの向こう側」

### 2. 教材について 「発展・深化型」

東南アジアについては、2年生時に「世界の国々の調査～多様な文化と変容するマレーシア～（東京書籍 P103～105）で学習しているが、そこでは「調べ方」を学習することが主であって深まった学習はできていない。しかし、現在、東南アジア諸国と日本は貿易で深く結びついており、身の回りにもバナナをはじめとする食品やゴムなどの工業資源、電化製品等、東南アジア諸国からの輸入品を見ることができる。

そこで選択社会では、必修の時間に深めることができなかった東南アジアの産業について、コーヒーを題材に理解を深め、社会科に対する興味・関心を高めさせていきたいと考えた。

### 3. 生徒について

授業にたいする生徒の取り組み状況は、学年によって大きな違いは見られない。

社会科に対しては、特別、好きというわけではないが、興味・関心は持っているようで身近な事柄については歴史的分野・地理的分野とも関心が高い様子が生徒の発言等からうかがえる。東南アジアについてはバナナ等の熱帯性の果実が多く生産されていることはおおむね知っているがプランテーションにおける生産の仕組みや、そこで生活している人びとの暮らしについてはよく分かっていない。

したがって、本時ではコーヒーを中心に東南アジアについて関心を高め、現地の人びとの生活について理解をさせていきたい。

### 4. 指導計画（7時間）

時	学 習 内 容	指 導 目 標	備 考
1	世界の気候について	・世界の気候の特色を把握する。	1年補充
2	東南アジアの自然・国	・東南アジアの自然と国について確認する。	2年補充
3	コーヒー生産の特色	・コーヒーの生産地、消費地の共通点を知り、社会科に対する興味・関心を高める。	2年発展 本時
4	コーヒー生産の問題点	・南北問題について理解を深める	2年発展
5	NIE Sの特色	・近代的な産業の発展について理解を深める	2年補充 2年発展
6	日本との関わり	・日本との関連を理解する	
7	まとめと評価		

5. 本時の指導

(1) 目標

コーヒーの生産地と消費地の特色を知り、興味・関心を高める。  
 「南」の生産国と「北」の消費国という構造について理解する。

(2) 本時の展開 = 既習事項 = 発展的内容 = 補充的内容

段階	指導内容	生徒の活動	教師の支援	備考
導入 5分	1.前時の復習	・東南アジアの自然や生産物の確認。	・発問により生徒の発表を引き出す。	
	2.課題の設定	コーヒーの生産地と消費地の特色		
展開 35分	3.白地図にコーヒー生産地を記入	・様々なコーヒーから生産地の共通点を考える。	・世界地図を使ってコーヒー生産地を示す。	
	4.現在の消費上位国も加えさせる	・生産上位国と消費上位国を加え、気づいたことをグループ内で検討する。	・生産地を赤、消費地を青で記入。 ・国の位置が分からない場合は地図帳で確認させる。	
	6.グループで作った地図をもとに発表させる。	・共通点や相違点等に着眼して発表する。 例) 生産国は赤道付近 消費国は北半球 等	・何組かのグループに発表させる。	
	7.生産国は旧植民地が多いこと	・国別カードで生産の歴史を知る。	・「南」の生産地、「北」の消費地が分かるように支援する。	
終末 10分	7.まとめ	・評価プリントに記入	・自己評価をする。	
	8.次時の予告			

(3) 評価

コーヒーの生産地と消費地の特色を知り、興味・関心が高まったか。  
 「南」の生産国と「北」の消費国という構造について理解が深まったか。